

■ **ご挨拶**

NPO法人 三重県防犯設備協会  
理事長 藤村 喜成

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行で、行動の制限が少なくなり、様々な活動が再開されてきております。

人々の動きに比例するかのように犯罪認知件数は残念ながら底打ちし、13年ぶりに増加に転じました。また、今まで見られなかった形の犯罪「ローンオフエンダー型」（単独犯のため、事前に計画や襲撃を探知することが難しい特徴があり、国内外問わず治安上の大きな脅威となっている）や「SNSを活用した過激な組織犯罪」が頻発し、不安を持たれた方が自宅の防犯対策への問い合わせや防犯設備の設置も増える傾向にあります。

そこで、日本防犯設備協会 代表理事 片岡義篤様が言われていた「強い防犯意識」と「正しい防犯知識」をもって協会運営に当たることが我々の使命と考え、協会事業の「防犯優良戸建住宅・アパート・マンション認定制度」による啓発、対面による防犯設備展示、防犯講演を通じ「正しい防犯知識」を情報発信し、われわれの「強い防犯意識」を示してまいりたいと思います。

今後とも、皆様方のご指導をいただきながら、一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

■ **協会の活動内容**

1. **年賀寄付金配分事業「不審者の犯罪被害から子供を守るための調査及び安全講習事業」その3 藤水小学校で防犯授業を実施**



防犯授業の様様

令和2年度より協会では、日本郵便年賀寄付金配分事業のうち「青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業」に取り組んでおりますが、4年間に亘り計画されている「活動・チャレンジプログラム」の3年目事業として、また令和4年度全国地域安全運動の一環として、津市立藤水小学校の通学路の安全点検調査を以下の通り実施致しました。

- 1) 通学時間帯の通学路安全調査及び通学路危険箇所調査 (令和4年10月13日)
- 2) 夜間の危険箇所調査および照度調査 (令和4年11月24日)

また上記調査結果に基づいて藤水小学校3年生の全児童を対象に安全講習事業（防犯授業）を実施しました。詳細は以下の通りです。

○授業実施日時

- ・令和5年2月27日(月) 場所：会議室
- 3時限目(10時45分～11時30分) 2クラス合同で実施 約40名
- ・資料：パワーポイント資料・子ども用防犯冊子・危険箇所報告書・防犯テスト

○講師 三重県防犯設備協会副理事長 楠 幸治・同理事 松林 秀典

○授業内容

- ①防犯の基礎講座・児童の連れ去り・不審者対応をクイズ形式で実施 (楠副理事長)
- ・パワーポイント資料・子ども用防犯冊子(三重県防犯協会連合会より支給)



三重県の安全・安心まちづくり

NPO法人

三重県防犯設備協会

<http://www.miebouhan.com/>



②通学路の危険個所を、調査報告書をもとに解説（松林理事）

・藤水小学校区の通学路調査報告書

③理解度テストを実施して、理解を深めて頂きました

また、全校児童と教職員全員に今回作成した通学路調査報告書を配布して頂き、各ご家庭で通学路危険個所を再確認して頂きました。

更に、自治会の皆様方へ本報告書を複数部配布することで、地域との情報共有も行いました。

（楠副理事長記）

## 2. 令和5年定時総会・スキルアップ研修会開催



定時総会の模様



スキルアップ研修会

令和5年5月26日津市センターパレス中央公民館情報研修室にて令和5年度定時総会と事業報告および、スキルアップ研修会が開催されました。

昨年の定時総会は、発生が継続している新型コロナの影響で来賓のご臨席を取止め懇親会も中止しての開催でしたが、今年度は来賓のご臨席、懇親会も実施しての開催となりました。

会合は正会員、個人会員、賛助会員の他、三重県、三重県警察本部、愛知県セルフガード協会から出席いただきました。

第1部の総会は、来賓の三重県警察本部 生活安全部首席参事官 生活安全企画課長 警視 中村義弘様 三重県環境生活部 くらし・交通安全課 課長補佐 酒井紀夫様、（公社）三重県防犯協会連合会 専務理事 山内範秀様 にご挨拶を頂いた後、令和4年度の事業・会計報告ならびに令和5年度の事業計画・収支予算など各議案の審議が行われ原案通り承認されました。

第2部の報告会では、藤村理事長から令和4年度の事業報告と令和5年度の取組みについて報告され、続いて楠副理事長から年賀寄付金事業の市立藤水小学校通学路防犯調査結果を踏まえた3年生の学童に対し実施した防犯教室の報告が行われました。

第3部のスキルアップ研修会は、NPO法人大阪府防犯設備協会理事長、日本防犯設備協会理事、防犯設備士委員長の平野様から「AI機能付き防犯カメラシステムについて」のテーマで1時間講演いただきました。

AIの基礎知識、AIの身近な応用例やAI機能を活用したこれからの防犯カメラについてわかりやすくお話いただきました。

スキルアップ研修会終了後、近くの会場で情報交換を兼ねた懇親会を開催いたしました。

（加藤理事記）

## 3. 「NPO法人三重県防犯設備協会のご案内」パンフレットを作成



NPO法人三重県防犯設備協会の発足当時作成された協会の案内パンフレットが長年更新されないままとなっております。

この度、（公社）日本防犯設備協会の助成を頂き新しいものに更新致しました。

当時運用されていなかった防犯優良住宅認定事業や新しい防犯活動などの紹介や防犯設備士取得のお勧め、全国の防犯設備協会の設置状況、当協会の会員募集のご案内など掲載されております。

今後、各地での防犯講習や防犯機器の展示説明などのイベントでの配布などを利用して当協会の認知度向上を図るとともに会員の皆さままでの活用を促進して参ります。

（加藤理事記）

## ■ 関連行事・イベント・その他

### 1. 第7回全国地域協会連絡会が開催されました

地域連絡会議は、地域協会共通の課題を検討、情報の共有を図るため平成29年からスタートしたもので今回、第7回地域協会連絡会議が7月7日東京機械振興会館で17協会20名と日防設9名計26名の参加で開催されました。

はじめに片岡代表理事から地域協会と連携した資格更新講習を昨年、関西、中部、九州ブロックで開催、好評で定員オーバーの会場もあった。今年は関東ブロックを加え3回実施する。

総合防犯設備士については、受験資格の緩和、試験制度の見直しを行っており来年度からは新しい受験制度を開始する。

地域協会の設立は今年2月に茨城県で設立、残る鳥取、愛媛、佐賀のうち8月に鳥取県で設立総会の実施予定で更に全県設置に向けて注力したい。

防犯優良住宅に関しては11月の全国大会で考え方や進捗状況を報告し、本格的な実施は来年度を目指したいとの挨拶がありました。

続いて日防設伊藤部長から防犯設備士資格更新の実施状況と今後の実施計画について説明がありました。

日防設からの報告に続き14地域協会から推進状況の報告があり、大阪では平成13年に発生した池田小学校事件から20年となり大阪府警から学校安全対策の一環として防犯診断の要請を受けて実施、京都からは京都府警の働きかけで京都府が防犯診断・アドバイザーの派遣費用を予算化された、愛知県では県警委嘱の防犯アドバイザー60名が「町の防犯診断」として県警、自治体と約2時間巡回、住宅、公園、道路だけでなく昨年から学校診断も開始したなどの活動事例が報告されました。

防犯優良住宅分科会の小林主査から現状の方向性の説明があり、11月の全国大会で詳細を発表する予定との報告がありました。

その他、日防設の助成を受けて新たに作成した三防設の案内パンフレットが紹介され、出席者に配布されました。

連絡会議後は4年ぶりに懇親会が開催されました。

(加藤理事記)

### 2. 令和5年度第2回 犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進会議

令和5年5月18日(木) J A三重健保会館中研修室において三重県の令和5年度第1回「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進会議」が開催されました。

令和5年度は「安全で安心な三重のアクションプログラム・第2弾」の計画期間が終了する年度であるため令和6年度から令和8年度にかけての新プログラム(第3弾)の策定に向けての協議が重点的になされました。

改定に盛り込む主な視点としては、「持続可能な防犯活動の実現をめざす」「防犯活動の「見える化」を進め「守られている」が実感できる地域をめざす」「全ての県民が防犯意識を持つことをめざす」の3点です。

特に「持続可能な防犯活動の実現をめざす」では、昨年度から進めている「事業者との連携強化」が、現場で活動する安全安心まちづくり地域リーダーの「活動人員の高齢化」「担い手不足」に対する打開策として非常に重要な位置づけとなってきます。

少子高齢化、人口減少等により防犯活動の担い手不足に悩む地域にとって、地域密着事業者が防犯活動へ参画することは、持続的な防犯活動に効果的であり、事業者にとっても地域社会・住民からの信頼獲得や企業のブランド向上につながる地域貢献活動そのものであり、双方にとって非常に有益なものと考えられます。

連携強化を図るため、既に「安全安心な三重のまちづくり防犯サポート事業者登録制度」が策定され、運用が開始されておりますが、三防設では登録事業者の増強と活動支援を積極的に協力していきたいと考えます。

(楠副理事長記)



### 3. 愛知県セルフガード協会第22回総会に参加



総会の模様

令和5年6月21日KKRホテル名古屋において愛知県セルフガード協会第22回総会が開催され、来賓として私藤村が出席いたしました。市川周作会長より、「H14年ピークより減少続けた認知件数もR5年前年を上回り13年ぶりに増加になった。特に侵入盗が全国ワースト3。まちの防犯診断事業を推進していきたい。」とご挨拶されました。愛知県セルフガード協会の「まちの防犯診断」は昨年度も42件実施され、今年度は豊橋市の予算計上された事業となり、防犯対策として地域から高く評価されています。

総会後の講演は、秋田県防犯設備協会会員の柳瀬わかな氏による「防犯片づけからアプローチする親子防犯と地域防犯」のテーマで報告されました。柳瀬氏は「整理収納アカデミアマスター」として整理収納の第一人者であり、また、防犯設備士でもあります。防犯+整理収納の観点で、狙われやすい家や、防犯対策について事例が提示されました。4年ぶりの開催となった懇親会で、愛知県の犯罪は組織窃盗集団による富裕層をターゲットとして情報を集めて狙うのが特徴との話の中で、犯罪組織にとっては県境等関係なしに三重県北勢も十分警戒が必要な地域であることを改めて感じました。

(藤村理事長記)

### 4. 三重県建築士会の総会に出席



令和5年5月27日、松阪市産業振興センターにおいて三重県建築士会令和5年度通常総会が開催され、私藤村が来賓として出席しました。

伊藤公智会長より、新規事業である、「第1回みえの木建築コンクール」（主催：三重県、共催：三重県建築士会）の開催、令和4年に三重県建築士会創立70周年を記念した記念誌の発刊について、報告されました。

建築士会様とは、防犯優良マンション・アパート認定事業で協同させていただいておりますが、みえの木建築コンクールは、県産材の利用拡大による地域活性化、脱炭素社会の実現に通じる社会貢献事業であり、防災・防犯から景観まちづくりまで

地域貢献のため幅広い取り組みをされています。

(藤村理事長記)

### 5. 県防連発行の「防犯みえ」春号を同封

三重県下の市町自治会から全所帯（672,000世帯）へ回覧されます「防犯みえ春号」には防犯優良住宅認定制度の紹介を掲載いただいております。

#### ■ 会員動向

##### 会員プロフィール紹介



中山 裕昭 NPO法人三重県防犯設備協会 理事  
勤務先 パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 三重電材営業所長  
電話 059-227-2251  
E-mail nakayama.hiroaki1@jp.panasonic.com  
趣味 スポーツ観戦、料理、お酒

社会環境やライフスタイルの変化に合わせ、電気設備とデジタル技術を核としたソリューションで、安全・安心な空間をお届けできるよう努めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

#### ■ 事務局からのご連絡

・次回発行予定 三防設通信は第32号を2024年1月にお届けの予定です。

編集責任者 NPO法人 三重県防犯設備協会 〒514-0131 三重県津市あのかつ台4-7-7 (三重電業(株)内)  
TEL 059-232-0303 FAX 059-232-5586